

2015年3月期 第3四半期連結決算報告 (2014年4月1日～2014年12月31日)

- 第3四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 年度末に向けて更なる事業の収益性の改善を見込む
- 通期業績見通しは変更なし

第3四半期の業績は前年より改善

- グループ売上は、4,666億円の前年比3%増収（前年同期4,512億円）
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、固定費の削減による効果を反映し167億円（前年同期142億円）
- 建築用ガラス事業は、売上1,898億円（前年同期1,814億円）、営業利益101億円（前年同期73億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上2,320億円（前年同期2,247億円）、営業利益50億円（前年同期67億円）
- 高機能ガラス事業は、売上439億円（前年同期444億円）、営業利益41億円（前年同期39億円）
- コスト削減効果は想定通りに発現

市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在

- 欧州建築用ガラス市場は低調だが安定的に推移
- 欧州域内の乗用車販売台数は前年を若干上回る水準
- 日本の建築市場が消費増税の影響を受け数量減だが、長期的見通しは引き続きポジティブ
- 日本の新車(OE)用ガラスの数量は、消費増税にかかわらず堅調
- 北米では、建築用ガラス市場は堅調。自動車用ガラス市場も引き続き改善
- その他地域では、建築用ガラス市場において東南アジアで需要レベルが増加。南米では自動車用ガラス市場低調
- 高機能ガラス市場は、改善している市場と低調な市場が混在。ディスプレイ用薄板ガラスが価格競争の影響を受ける一方、オフィス向けプリンター用レンズの需要は堅調

<2015年3月期第3四半期連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 4月-12月期	14年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,666	4,512	3%**
無形資産償却前営業利益	167	142	
償却費*	(63)	(58)	
個別開示項目前営業利益	104	84	
個別開示項目	107	(95)	
営業利益(損失)	211	(11)	
金融費用(純額)	(142)	(132)	
持分法による投資利益(損失)	(4)	8	
税引前利益(損失)	65	(135)	
当期利益(損失)	47	(137)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	40	(148)	
EBITDA	412	380	8%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと0%

収益性がさらに改善

2015年1月30日 | 2015年3月期第3四半期決算報告